

THE
NAWay
MAGAZINE

THE INTERNATIONAL JOURNAL OF NARCOTICS ANONYMOUS

「世界中で読まれているNAの定期刊行物」

出版30周年を祝う◆ 1982年～2012年

2012年1月発行

第29号 / 1号



数字でみた WCNA 34◆「私たちの未来像」に投資しよう◆ソーシャルメディアサービスパンフレット◆2012年ワールドサービスカンファレンス



世界中で 読まれている NAの 定期刊行物

NA Way マガジンは、ナルコティクス アノニマスのメンバーのための雑誌であるため、英語、ベルシャ語、フランス語、ドイツ語、ポルトガル語、スペイン語など、さまざまな言語で出版されている。そしてこの雑誌の使命は、ひとりひとりのメンバーに回復とサービスに関する情報を提供することであり、そこには回復にまつわる喜びだけでなく、現在NAで問題となっていることや世界中のNAメンバーのだれにとっても見過ごせないイベントなども取り上げている。編集スタッフはこのような使命に従い、世界中のメンバーが特集記事をはじめとするさまざまな記事を書いて、自由に載せられる雑誌にしようとするのももちろん、現在行われているサービスやコンベンションに関する情報を提供することにも力を注いでいる。だが、これが定期的にメンバーに届く雑誌であるからには何よりもまず、『アディクトであれば、どんなアディクトであっても、薬物を使うのをやめることができ、使いたいという欲求も消え、新しい生き方を見出すことができる』というNAの回復のメッセージをたたえることにこそ力を注ぐ。

NA World Services, Inc.
PO Box 9999
Van Nuys, CA 91409 USA
Telephone: (818) 773-9999
Fax: (818) 700-0700
Website: www.na.org

NA Way マガジンでは、読者のみなさんが参加されるのを待ちしている。この年に4回発行される定期刊行物によって、ぜひ、世界中の仲間たちと分かち合いをしていただきたい。回復するなかでの経験はもちろんのこと、NAのさまざまなことに関する意見や、これからの課題などについても投稿をお待ちしている。ただし、投稿された原稿はどれもみな、ナルコティクス アノニマス ワールドサービス社に所有権があるものとされる。購読の予約、編集に対する意見のほか、著作権など実務的なことでの相談は、PO BOX 9999, Van Nuys, CA 91409-9099 にお問い合わせいただきたい。

NA Way マガジンは、NAメンバーがそれぞれに自分で経験したことや自分なりの意見を紹介する雑誌である。ここにはNA全体の意見は表明されていない。そしてもちろん、ナルコティクス アノニマス、NA Way マガジンまたはナルコティクス アノニマス ワールドサービス社によって支持されていると受け取れるような記事も掲載されてはいない。また、インターネットからNA Way マガジンを配信することを希望する場合には、上記のアドレスに手紙をいただくか、naway@na.orgにeメールをいただきたい。

NA Way マガジン (The NA Way Magazine : ISSN 1046-5421)、NA Way (The NA Way)、ナルコティクス アノニマス (Narcotics Anonymous)、この3つは、ナルコティクス アノニマス ワールドサービス社のトレードマークとして商標登録されている。NA Way マガジンは、ナルコティクス アノニマス ワールドサービス社 (19737 Nordhoff Place, Chatsworth, CA 91311) によって、年に4回発行される。

編集者から、ひとこと

みなさんにうれしいお知らせがある

これが、NA Wayマガジン 第1号「編集者から、ひとこと」の第一声だ。1982年ワールドサービスカンファレンスの動議により、「NA Way (NAで歩むアディクションからの回復の道) をテーマとする月刊誌を発行するため、新しいサブコミティ (小委員会)」が結成されることを伝えるのだから、そう書きたくなるのも無理はない。そして2012年の第29号では、過ぎ去った日々の思い出や歴史的な一コマを読者に提供することで、NA Way マガジンの30周年を祝うことになる。NA Way マガジンは、発行回数、装丁、編集方法などの面でこの30年にだいぶ様変わりしたものの、わたしたちの回復とサービスに関する情報や経験をわかちあうという主旨は一貫しており、NAでの回復に関する刊行物であることに変わりはない。

みなさんもぜひ、長年親しんできた NA Way マガジンの思い出をわかちあっていただきたい。そうやってこの1年、思い出をたどる旅を楽しんでもらえればと思っている。となれば、今月号で変化に目を向けるのもうなずけるだろう。

「NAにいたら、自分が変わっただけじゃなく、変化もイヤではなくなった」

『ベーシックテキスト、「身を任せる」』
ド・J (エディター)

Electronic subscribers can click here
for historical NA Way Magazine content.

今月号の掲載記事

特集記事

- 心が揺れる危うい時間 3

NA Wayマガジン

購読手続き変更による効果

12

ワールドサービスカンファレンス

13

わかちあい

- おそろしいほどの変わりよう 5
- 仲間のなかにいたい 6
- 変化の風 6
- 降伏 7
- 父と息子 8

数字で見たWCNA34

9

「私たちの未来像」に投資しよう

10

Social media service pamphlet

12

インターネットによる変化と変更

13

仲間たちの絵葉書

14

グループ紹介

16

Calendar

17

NAWS Product Update

18

WCNA merchandise

20

表紙の写真：パリのルーン通りで「変化に直面する」(もちろん、NAのロゴはこちらの書き込みだよ)

ジャン-ポール・B (フランス/ロケヴァイア)

NA Way マガジンでは、読者のみなさんからの便りをお待ちしている。掲載された記事に対する感想はもちろん、NAという集まりのなかで取り上げられている問題についてひとつの考え方を示すにすぎないものであっても、エディター宛に送っていただきたい。250字以内にまとまっていれば、そのまま編集の手を加えずに掲載されることになっている。お便りには、本名、現在使われている住所および電話番号を明記することをお忘れなく。掲載される場合には、アノニマスでという希望がないかぎり、ファーストネームと苗字のイニシャルを署名として用いることになる。

心が揺れる危うい時間

なんという夜だろう。私といつもの仲間4人は一日サービスで顔をつきあわせたあとも、夕食を共にして、金魚のフンのようにぞろぞろとミーティングに向かった。なにせ私たち4人は、この30年近くつかず離れず一緒にサービスにかかわってきた仲なので、夜になってもずっといろんな話をしながらN Aに対する思いをわかちあった。そして、この夜に出席したミーティングでは、私たち4人組のひとりがスピーカーを努め、素晴らしいメッセージを伝えた。部屋にいるのは、ほとんどが地元（ロスアンジェルズ）の若者たち。このスピーカーがグリーンになったころにはまだ生まれてもいなかっただろうに、うんうんとうなずき、笑っている。そういう光景を目にするのは、うれしいものだ。この仲間は、自分の国でN Aにめぐりあったことの意味や、それにまつわるさまざまな思いについてわかちあった。その当時、自分の国ではまだN Aが誕生したばかりで、自分の話す言葉に翻訳されたN A文献など一冊もなかった。そんな状況では回復すらおぼつかず、まさかここまで生き長らえて、今夜こうして当時の話をするようになるとは思ってもよらないことだった。それでも、教会の地下室で出会った3人のイケした連中が、初めてN Aに参加した自分に少しでも希望を与えようと真剣になってわかちあってくれた。あの心もたなく危うい1時間によって、人生がまったく違うものになってしまった。あの1時間で、すっかり希望がもてるようになり、そのまま使わないで次のミーティングに足を運ぶことができたのだ。そして、自分の国に翻訳委員会ができると参加するようになり、数年後にはワールドサービスカンファレンスに出席するようになった（そこで、私たち4人は出会ったのだ）。それ以来、N Aのために力を尽くしてほしいと頼まれてありとあらゆるサービスの理事会や委員会にかかわってきた。この夜は、そのような話をはしっていたが、私には克明に伝わってきた。

N Aは、なんといってもチームワークだ。ひとりひとりが手持ちのわずかな糸を紡いで、このような見事な織物を織りあげる。そうやって何十年にもわたり実に多くの仲間が、無名のまま、ひたむきに歩みを重ねてきたのだ。そして今も、見ず知らずの仲間たちの努力に支えられて回復の道を歩み出すアディクトがいる。こんなことは、N Aメンバーにならなければ知りようもなかっただろう。

今夜、私たち4人がここにいるのは、ロジャー（本名ではない）の25年のお祝いに私からケーキを贈ることになっていたからだ。ロジャーと私は、はるか昔にあるミーティングで出会った。そのとき、ロジャーはグリーンになって90日ぐらいで、ほとんどやる気をなくしかけていた。自分はかなり複雑な問題を抱えているのに、ミーティングでも仲間たちからも通りいっぺんの決まり文句しか返ってこず、軽くあしらわれているかと思えてならなかったのだ。実際、「そうや

ってバカのひとつ覚えのように、神の話やごたくを並べて遊んでやいさ」と考えるまでになっていた。そして、あの夜、ミーティングに出て、自分が思っていることを何もかもぶちまけた。細々とつないできた回復に希望を見出すそうとする最後のあがきのような状態だった。それに対していつものようなたわごとが返ってきたら、もうおとなしく聞いたりはずせ、さっさとN Aから立ち去るつもりでいたのだ。しかしみんなは、そうまでして訴えずにいられないロジャーの苦しい胸のうちなど聞きたくもないとばかりに、いつもどおりの反応をした。ロジャーにしてみれば、無視されたも同然だった。

あの夜、私は部屋の片隅でこうしたやりとりを耳を傾けながら、7年前の自分がダブって見えた。私も同じような闘いを経験したのだ。これもやはり、危うい時間だった。心が揺れ動くうちに、人生がまったく異なるものになってしまう。だから、25年前のあの夜、ミーティングのあとでロジャーをつかまえて、私は言った。「君の言いたいことは、よくわかるよ。僕でよかつたら喜んで協力するから、君が立ち向かいたい問題についてとことん話し合おうじゃないか」。このような反応があったことで、ロジャーはちよつとびっくりしていた。それからふたりで遅くまで語り合い、別れるときには翌日も落ち合う約束をした。こうしてさまざまなやりとりをするなかで、ロジャーの重荷になっている問題をひとつひとつ掘り下げていき、ふたりの間には長年にわたるスポンサーシップが生まれた。私は



購読手続き変更による成果

自分がその地区を離れるまでの10年間、ロジャーを見守った。その間に、ロジャーはぐらつきやすい新しい仲間たちのスポンサーとなり、思いやりと知恵を見事に働かせて、それぞれが回復の分かれ道にさしかかったときにしっかり対応し、ステップを踏んでサービスに関われるように導いたのだ。そして、今もやはり、NAで回復の道を歩む者たちには心が揺れて歩みが止まる危うい瞬間がある。だが、そんなときに仲間のだれかが心をかけてくれることで、ささやかな希望の灯がまたたき、もう1日、回復への意欲を持ちつづけることができるのだ。

これはまぎれもない事実であり、生涯にまたない経験となって私たちに恵みをもたらしてきた。今夜のミーティングが終わって、ひとりホテルのロビーを部屋に向かって歩いていたとき、私は自分に言い聞かせるようにつぶやいた。「私は恵まれている。実に豊かだ」そして、本当にそうと思った。ときには歩みをゆるめて、このことにしっかり目を向けなくてはならない。心が揺らぐ危うい瞬間があるからだ。だが、そのようなときに数々の奇跡が生じる人生を、私たちはNAで生きている。アディクトにとって、NAに足を踏み入れることは幸運以外の何ものでもない。そのことを忘れてしまうと、ホームグループにいても無口になって仲間の輪から外れそうになる。そういうメンバーは、どっちへ転んでもおかしくはないのだ。ミーティングの後でささやかな思いやりと心づかいが示され、ほんのかすかでも元気が湧いてくれば、まちがいをなく生き方が変わってくる。それによって親や子供、兄弟や姉妹、祖父や祖母と、波紋が広がるように周囲の人々の人生も変化する。だれもかれもが、このような可能性に満ちた豊かな人生を送れるようになるわけではない。それが、NAにいれば可能になるのだ。

実にさまざまな人生を織りこんで、私たちの織物はできあがる。どうか、ひとりもかけることなく何十年にもわたって織り手になり、それぞれの出会いが織りなす人生模様を目にすることができますように、と願わずにはいられない。『このような人生は、あの地獄のような毎日よりもまだという程度のもではなく、私たちが知っているどんな人生よりも素晴らしいものだ。私たちが解決の方法を見つけることができました。それはほかの人たちにも効果がある。そして日々、さらなる気づきが与えられるのだ』（ベーシックテキスト『さらなる気づきへ』）

ロン・H（アメリカ合衆国／ニューメキシコ）

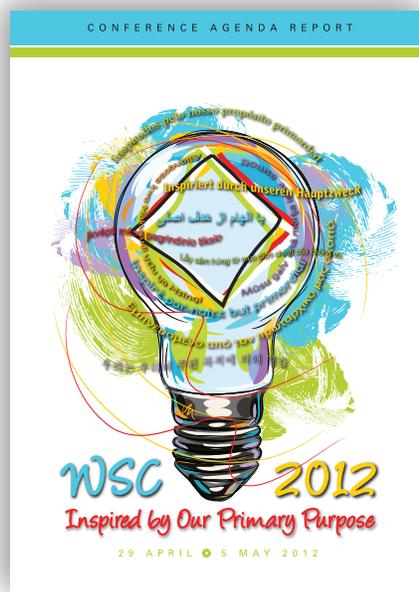
今回は、みなさんの協力が大きくものを言った。NA Way マガジンの購読手続きに関する大々的な変更も1年を迎え、感嘆すべき成果が上がったことは数字によって示されている。

従来のデータベースから郵送される紙版のNA Way マガジンは、2010年10月号が最終号となった。そして、ワールドサービスカンファレンスの支持を受けてこのデータベースが完全に削除されたので、そこに登録されていたグループ、サービス機関、信頼される僕たちへ紙版のNA Way マガジンが自動的に郵送されることもなくなった。これにより、紙版の年間購読数は約163,000から33,000を下回るまで減少し、インターネット版の年間購読数は約62,000となり161%急増した。今回、私たちが一丸となって取り組んだ結果、NAの資金が100,000ドル以上も節約されたのだ。これで、NA Way マガジン以外の方法でNAのメッセージを運ぶサービスにも資金が活用できるようになった。

今回の購読手続き変更をうながすにあたり、私たちはインターネット版 NA Way マガジンの内容を充実させた。これにより、インターネット版には記事を読みながら関連のある情報にそのままつながるリンクが張られ、紙版の NA Way マガジン には掲載されていない内容や特集記事が読めるようになった。そして、最新号やバックナンバーは、www.naway.org で閲覧できるようになっている。

紙版購読の再登録でもインターネット版購読でも読者の多くが手続きを終え、今回の変更がみなさんに快く支持していただけたことに感謝している。なお、購読の手続きは www.na.org/subscribe で受けつけているが、コンピュータを利用していないメンバーもいるだろう。その場合には、今でも紙版のNA Way マガジン を購読できる。また、グループやサービス委員会、あるいはさまざまな機関が何部かまとめて購読を希望する場合には、「一括の購読手続き」に従うか、fsmail@na.org へEメールで申し込んでいただきたい。

インターネット版 NA Way マガジンの購読により配送費の面でもNAの資金が節約されるため、まだ苦しんでいるアディクトたちにサービスを提供する選択肢が増えるだろう。ここに記載した情報はぜひ、グループの仲間たちやサービス機関のメンバーたちと共有していただきたい。みなさんのご協力に感謝するとともに、これからもNA Way マガジン をよろしくお願ひしたい。



第31回 ワールドサービス カンファレンス

私たちの第一の目的を 使命とする

29 April - 5 May 2012

2010年4月29日～5月3日

アメリカ合衆国カリフォルニア州ウッドランド・ヒル

カンファレンスアジェンダレポート

・『リビングクリーン：ザジャーニー コンティニューズ』

・サービスシステムプロジェクト

・リージョナル プロポーザルズ

・F I P Tに関する動議

以下のサイトで、閲覧または購入可能

www.na.org/conference

カンファレンス アブルーヴァルトラック（CAT）に関する資料は、1月末に入手可能の予定。

www.na.org/conference

おそろしいほどの かわりよう

仲間みなさん、こんにちは。ミズーリ州ジョプリンのN Aは、しっかり生き延びて、今もショーマーリージョンのオザークエリアで活動しています。

今回の竜巻(*)では、ジョプリンのミーティング会場はどこも無事でしたが、会場のひとつである教会の地下室が避難所になったため、「ミラクル グループ」による金曜の夜6時30分のミーティングは一時的に別の場所で行うことになりました。でも、竜巻による経済的な損失は大きく、相当数の建物が倒壊したことによって、被害を免れた土地の値段が高騰しています。N Aが中心となっていたリカバリークラブは、街中の小さなショッピングセンターの通り沿いであることから家賃がはねあがり、とても払えるような額ではなくなってしまったので、8月に閉鎖されました。このため、ここを拠点としていたグループは別のミーティング会場を探さなければならなくなったのです。それでも、ミーティングを開けなくなったり、やめてしまったりするグループはひとつもありませんでした。ジョプリンでは現在、6つのグループが活動して週に21の

ミーティングが開かれています。このうち3つのグループがこれまでと同じ場所に会場を借りることができることになったため、みんなで資源を共有して支え合いながらうまくやっています。

ただし、今回の竜巻では、命を落とした仲間たちもいました。そして身内を亡くした仲間もいるし、家を失った仲間も少なくありません。ミーティングの出席者は激減してしまいました。入院治療センターがひとつと、青少年治療センターの大半が、竜巻で破壊されました。2011年5月22日を最後にして、新しいメンバーの多くがミーティングから姿を消してしまい、何があったのかはもちろん、その後の消息も不明です。6か月が経過しても、出席者の数はまだ元通りになっていません。竜巻のせいでここに住めなくなった人があまりにも多いばかりに、ジョプリンのN Aは多くの仲間を失ったのです。

こうして竜巻は痛手ではあったけれども、わたしたちは今年も「ハイ・オン・ライフ・ピクニック」を開催しました。これは、ミズーリ州クリントン（ジョプリンから約50マイル北）にあるトルーマン湖で年に1回行われるイベントで、今年が33回目になります。毎年300人～400人の参加があり、過去には500人が参加した年もありました。今年はその数がだいぶ減ってしまい、240人ぐらいにとどまりましたが、それでもこうして回復を祝って集まれたのは幸せでした。わたしは、ピクニックの閉会となる日曜朝のミーティン



(*) 編集者記：ジョプリンは2011年5月に想定外の巨大竜巻によって壊滅的な打撃を受けた。パムは、この手紙を2011年7月に投稿し、2011年11月に電話で最新情報を提供してくれた。

変化の風

グで進行役をつとめ、終了の祈りのためにみんなで輪になったときには、ジョブリンでわたしたちが直面している困難と変化のことを口にしていました。すると運良く、このイベントにはカンザス・シティーの仲間たちが参加していて、ジョブリンのN Aに大勢で押しかける応援ツアーを組んでくれたのです。そしてある週末には、こうして押しかけた仲間たちが、3つのミーティングに出席しながら行事にも参加してくれました。そうやってひたすら、経験と力と希望をわかちあおうとしてくれたのです。

そのような支援こそが今のわたしたちに必要なのだとお伝えたくて、これを書いています。もし、みなさんがこの辺を通りがかることがあれば、ぜひ、ジョブリンのミーティング・スケジュールを確かめてください。電話連絡のとれるメンバーもいるので、どうか、声をかけてください。竜巻のあとでは何もかも変わってしまったので、会場をまちがえないためにはメンバーに連絡する方がいいでしょう。みなさんに来ていただければ、なによりです。今ほどN Aの力を必要とするときはないので。みなさんがわたしたちのことを思い、祈ってくださることに感謝します。

愛を込めて、

パム・M (アメリカ合衆国/ミズーリ)

仲間のなかに いたい

N Aでは、ステップ1をそのまま受け入れ、ハイパーパワーを頼りにスピリチュアルな原理を日々実行しようとするとき、回復の道を歩み出す。それによって変わるのは自分の将来だけじゃない。自分が衝動的に行動しなくなり、かつてのように周囲の人たちを苦しめることもなくなるんだ。これからは、自分さえよければいいという気持ちや態度を捨てなくちゃいけない。いい人になるって、最高だなあ。

これまでの生き方ではトラブルにまきこまれたし、それでクスリに手を出したんだ。長いこと「死んでも同然」でいた自分が、回復することによって日々生まれ変わっていくんだから、すごいじゃないか。使っていたときには、生きているのが楽しいなんて思わなかったのに、クリーンでいるといういろんなことに興味がわく。それがなんともいい感じた。今は、心おだやかなひとときがあり、生きる理由もある。そして今日だけは、自殺したりクスリを使ったりしないという目標もある。でも、それは自分ひとりではできない。だから、N Aの仲間のなかにいたい。それをよしとするのは、アディクションに無力だからだ。

アラン・A (ブラジル/ベレン)

かつてのあたしは、弱々しく芽を出しかけた種だった。いつも心に渴きを覚えていたけど、なんでそうなるのかなんて知ろうとしなかった。風のふくまま気の向くままに飛んでいき、この渴きを癒してくれるものを見つけようとしたのよ。でも、探しても、探しても、見つからなかった。そんなある日、目覚めると安全な森にいた。そのとき、あたしはほとんど死にかけていた。

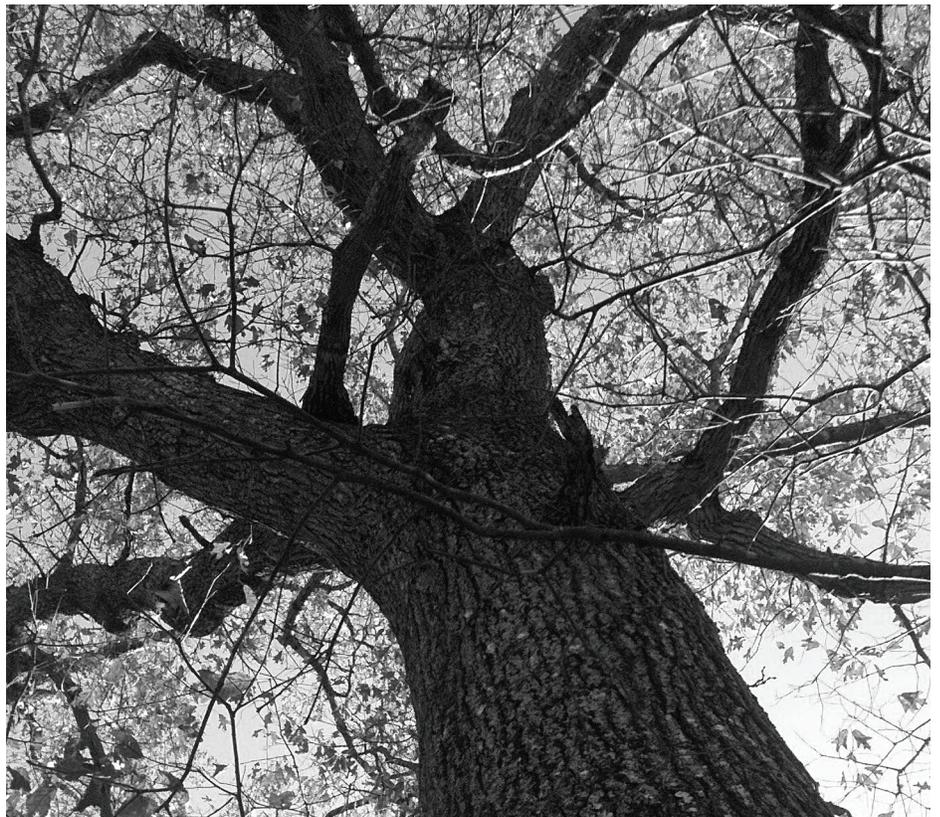
幸い、地面に落ちたあたしのそばには、安全な森で季節がめぐる間に成長した古い木が高くそびえていた。「助けて！」あたしは、その長老の木にむかって叫んだ。「このままじゃ、吹き飛ばされちゃうわ。どうすればとどまれるか、教えてほしいの」

「方法は、簡単よ」と、長老の木は言った。「だからといって、たやすいわけではないけどね。それでもなんとかなるわ。ほら、まわりに高い木がいっぱいあるでしょ。みんな、この安全な森に根づいたのよ」たしかに、見事な枝ぶりの木がたくさんあった。それを見て「あたしもあんなふうになってみせるわ」と意気込んだ。「10フィートは伸びるわよ、明日にでもね」とすると、長老の木はクスクス笑いながら言った。「あせらないこと、いいわね？ 根を張らずに背ばかり伸びても、ちょっとした風で倒れてしまうのよ。本気でとどまるつもりなら、根を張っていかなきゃダメ。それは、1日1日の積み重ねでしかできないことなのよ」

「わかったわ」あたしはタメイキをつき、根を張るといって退屈な仕事に取りかかった。それは、周りにある何本もの似たような木と、変わりばえのしないことを言いながら毎日を過ごすというようなことだった。そして、それがまさに退屈きまりないものになったころ、不吉な風の音がした。「変化の風だわ！」長老の木が興奮して叫んだ。

でもまあ、あたしは昨日や今日安全な森に来たわけじゃないんだから、変化の風ぐらいやり過ごせると思った。そこで、幹をしっかりと伸ばし、風に向かって踏んばった。でも、すぐにしんどくなって、幹も軋んできた。「疲れたし、幹も痛い！」あたしが泣きごとを並べると、「あたりまえじゃない」と長老の木が言った。「変化の風には、幹をたわめなくちゃダメなのよ。つまりね、痛むのは風のせいじゃないの。そうやって風に逆らうから、痛くなるのよ」

こうして、あたしは安全な森で暮らしながら学んでいった。しっかりと根を張って風をしなやかに受けとめ、周囲にある木々ともわかりあえるようになった。でも、そんなときに、あたしの枝を払うために庭師がやってきたので、あたしは怖くなった。「どうしよう、傷つけられちゃう！」泣いているあたしに、長老の木はやさしく言いかけた。「そうね、ちょっと痛いでしょう。だけどね、古い枝を落とさないと新しい枝は伸びていけないのよ」そうか、しかたない。あたしは庭師のお



世話になった。すると、みるみるうちに新芽が伸びて美しい緑の枝葉になっていく。そして、それに合わせるかのように幹には節やコブができ、枝には虫がたかっていた。「虫がうようよいて、うとうしいったらありやしない！」とわめくと、「それじゃあ、自分の庭師に頼んで取り除いてもらいなさい」と長老の木が言った。「こういうことは、自分ではどうすることもできないのよ」それであたしは、たかっている虫を取り除いてくださいと庭師にお願いした。そして、虫がいなくなってみると、節もコブもそれほど悪いものじゃないように思えた。「なんにせよ」と、あたしは考えた。「庭師が、虫と一緒に取り除かなくてもいいと思ったんだから、あたしも節やコブごときはよしとしくちゃね」

そして周りを見わたしてみると、安全な森にはいつのまにか、あたしの後にも小さな種がたくさん転がり込んでいた。あたしは、芽を出しかけた種でいるってどんな気持ちか忘れてなかったから、ここぞとばかりに温かく迎える努力をするようになった。でも手をさしのべたからって、全部が全部、安全な森にとどまったわけじゃない。まったく落ちてくることができなくて吹き飛ばされてしまった種もある。そうやって仲間がいなくなるだけでもすごく寂しいのに、さらにいくつかは、根を下ろしていくということが理解できなくて、枯れてしまったの。あたしは悲しくてたまらなかった。このときあたしは嘆きの嵐にとでも激しくゆさぶられ、安全の森から逃げ出したいくなってしまったけど、パニックになっているあたしに長老の木が寄り添うようにして言った。「気持ちはわかるわ。でもね、じっとたずんで痛みを受けとめなければならぬときがあるのよ」

こうして長老の木はいつも支えてくれたので、安全の森にいれば自分は絶対にひとりじゃないということがわかるようになった。ここにはいつだって庭師がいてくれるし、そういう存在はさておいても、まわりに成長を共にする木々があるから話し相手には困らない。そうやって一緒に並んで立っている木々のぬくもりによって、冷たい風がいくら吹いても凍えずにいられたしね。自分がここにしっかり根づいた今、世界はそんなに怖いところではなくなったわ。そうなるとおかしなもので、あたしも、ここで育ちはじめた若木たちから長老の木と見られるようになっていた。だって、まさに今日、1本の木があたしに向かって言ったのよ。「吹き飛ばされたらどうしよう。どうすればとどまれるか、教えてください」

「方法は、簡単よ」と、あたしは言った。「だからといって、たやすいわけではないけどね・・・」 ジョー・W
(アメリカ合衆国／カリフォルニア)

降伏

刑務所の寒くて暗いコンクリートの監房で、重い金属の扉がバタンと閉まる。その音で、俺のクスリ漬けになった身体は震えあがり、どうしようもない絶望感に襲われた。自分に嫌気がさす。「俺の人生は、これでおしまいだ」監房の冷たい鉄のベッドに寝ころんで、俺はそんなことばかり考えていた。身体を起こすと、熱したナイフがバターにぐいぐい入るよう不安がじわじわと押しよせてきた。

「なんで、俺がこんな目に・・・」と、押し殺した声でつぶやく。同室の囚人に聞こえたらまずい。女々しいと思われるだろうし、そもそも刑務所でそんなこと言っても始まらないからだ。でも今夜は、絶望感と罪悪感がせきを切ったようにあふれて、気持ちを抑えきれない。家族からは縁を切られたし、友だちもいなくなった。今度という今度は、後がない。俺が生きてた世界は、自己中心的で、破壊しかもたらさないものだった。もう、そんな生き方には耐えられない。一卷

俺は恐怖に かられて、自分より 大きな存在を信じる ために、 プライドと闘った

の終わりだ！

頬を涙がとめどなく流れ、全身に鳥肌が立つ（看守たちは監房を凍えるような寒さにして、囚人たちをおとなしくさせておいた）。俺は居ても立ってもいられず、10フィートの距離を行ったり来たりしていた。自分が衰えて、衰えて、衰えて・・・「俺は、なんて不幸なんだ」ということしか考えられない。まったくのひとりぼっち、本当に孤独だった！俺にはもう、苦しみのお道ずれにできる相手も、責める相手もいなかった。

恐怖が骨身にしみてきた。牢獄にぶち込まれると考えただけで、俺は心底びびった。監房の壁を殴りつけてやりたかった。気持ちのやり場がなくなって、俺は神に向かってわめきちらした。「ちくしょう！なんでこんな目にあわせやがるんだ？」

神といっても、俺が知っているのは小さいころに聞かされた話だけだ。そんなもの本当にいるのかどうか、わからなかったが、もうどこにも行き場がなかった。俺は恐怖に駆られて、自分より大きなものを信じるためにプライドと闘った。なにがなんでも助けてもら

いたかったんだ。監房が暗くなっていき、壁が迫ってくるようだった。俺はガクッと膝を突き、すすり泣きながら、叫んだ。「あんたが本当にいるなら、お願いだ、助けてくれ。こんな生き方はもうしたくないんだ。もう、やなんだよ！どうか、頼むから、この惨めさから抜け出せるようにしてくれ、どうしたらまともな人間になれるのか教えてくれよ」

その瞬間、気持ちも精神状態も心も、すっかり落ち着いていた。こんなことはじめてだった。俺は、神に助けてもらおうとしたから、謙虚な気持ちになれたんだ。ほんとうによかった！気がつく、俺は生まれて初めて真剣に神に祈っていた。

「答えは、これだったのか？」俺は自分に問いかけた。「俺があれば必死で探していたものは、これなのか？」こうして俺には落ち着きと安らぎが訪れ、何もかもうまくいくだろうという希望がもてた。不安も恐怖も俺のなかから消え失せていた。俺は神に感謝しながら眠りに落ち、翌朝目が覚めると、態度も考え方もすっかりと前向きになっていた。生まれてこの方、これほど心安らかに眠れたことはなかった。肩の荷が下りたようで、世間の重圧も感じなくなった。そして前の晩に起こったことをじっくりと考えるうちに、俺は悟った。俺がこの先も生きていけるかどうかは、自分の意志を神にゆだねることにかかっていたんだ。俺は降伏するしかなかった。

あの奇跡のような出来事があって以来、俺はまともな人間になろうと努力するようになっていた。クスリに溺れて、絶望し、狂気におちいるのはもうこりごりだ。俺は、仲間たちの役に立ちたいし、学校に戻ってアディクションのカウンセラーになり、そしてゆくゆくは社会できちんと生きていける人間になりたいと思っている。NAにつなぐと与えられたものを返していけることが、うれしいんだ。今は、最高だ！だが、それでも何かで悩まされたり問題が生じたりするときがある。そういうときには、前のように自分の意志を使いたくなっているんだとわかる。だから俺の場合は、監房であの夜に経験した人生の最悪で最高の瞬間を片時も忘れるわけにはいかない。手放して神におまかせすること、それを忘れたらおしまいだ！

クリス・B (アメリカ合衆国／カンザス)

.....
Electronic subscribers
can click here for
additional content.
.....

父と息子

あのころのおれは、ウンザリしてばかりで、そういう状態にいるのにも疲れ果てていた。もう、どうでもよくなっていったんだ。おれは仕事に就いても長続きしなかったし、自分で商売をはじめてもダメだったんで、女房からはとうに見切りをつけられていた。おれも、女房も、カウンセリングに通った。ふたりとも必要だったからだ。おれは何でも試してみた。だが、リハビリや解毒もやる気がつく間のことではなかった。

おれは、カウンセラーからN Aのミーティングを試してみるべきだと言われ、女房が参加しているA A（アルコールクス アノニマス）のスポンサーからも同じことを勧められた。みんながみんな、正しかった。おれは3度目の心臓発作を起こし、かかりつけの心臓の医者からも「行いをあらためなさい」と言われた。この期に及んで、おれは助けを求めて祈り、はじめてN Aのミーティングに行き、仲間たちの話に耳を傾けた。1時間のミーティングだったが、30分もすると、おれは帰りたくなった。それでも、のちにスポンサーをお願いすることになる仲間との出会いがあった。そして、このとき出会ったもうひとりの仲間は、週末に行われる男性メンバーのためのリトリート（訳注：静かな場所で黙想する集まり）に連れて行ってくれた。リトリートでは、食事を楽しみながら仲間との交流があった。こうして顔を合わせたアディクトたちはみんな50代で、自分と同世代だった。おれは提案されたことをやるようになった。90日間で90回のミーティングだ。それは、すっかり頭にインプットされてしまった。

おれがそんなことをしている間に、息子も同じようにクリーンになりつつあったとは、思いもよらなかった。息子もやはり、それまで解毒とリハビリで苦しんでいたからだ。そんな息子がクリーンになったのは11月で、おれが1月10日。おれたち親子は、さほど違わない時期にお互いのクリーンタイムを祝うんだ。うれしいのはそれだけじゃない。息子夫婦のおかげで、おれは孫の顔を見るという幸運にも恵まれた。おれも息子も、この子にはクスリに溺れる姿を見せるわけにはいかない。

おれと息子は、ミーティングにも、スピーカージヤムにも、コンベンションにも、いつも連れだつて行く。神、ハイヤーパワー、そしてN Aという仲間の集まりには、こうしてアディクトの命を救ってくれたことを感謝している。「ナルコティクス アノニマスは、宗教ではない。あくまでもスピリチュアルなプログラムにすぎない」とされているが、そんなただのプログラムにすぎないものにこれほどのことができるなんて、おれは考えてもみなかった。

コリン・L
(アメリカ合衆国/ニューハンプシャー)

IN THE SPIRIT OF UNITY

Do you know about *Reaching Out*? This newsletter is distributed to nearly 4,000 inmates quarterly. It is also used by H&I committees, treatment centers, and addiction professionals as a valuable resource to carry our message of hope. We offer free subscriptions to incarcerated addicts and 20-copy bulk subscriptions to committees for \$32.60 per year.

Check out our latest issue at na.org:
www.na.org/?ID=reaching_out-index

We thank NA members who took time to visit the *Reaching Out* display at WCNA 34 in San Diego. Convention participants had the opportunity to subscribe to *Reaching Out* and submit their story in an onsite drop-box. Several of the stories collected at WCNA will appear in the January 2012 issue.

Please support our ongoing efforts by subscribing and contributing to *Reaching Out*. In addition to written submissions, we are always looking for logos and artwork from members who found recovery in NA while incarcerated or who have a passion for H&I.

WE WANT TO HEAR FROM YOU!

Email: handi@na.org

Mail: Reaching Out
NA World Services
PO Box 9999
Van Nuys, CA 91409 USA

NA Way e-subscriptions

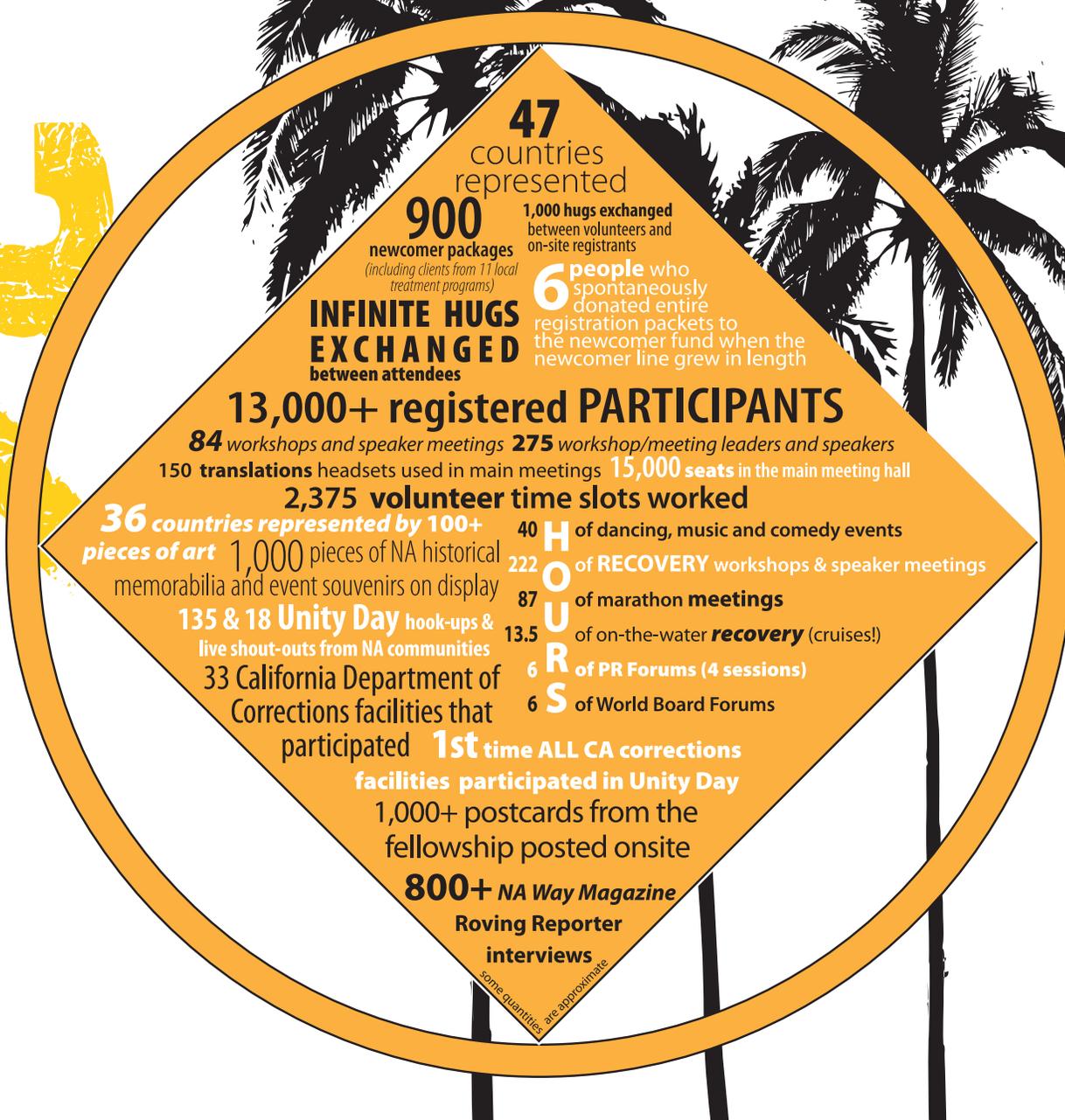
Are you missing out on the additional NA Way content you see mentioned in the magazine?

e-subscribe today at
www.naway.org

WOCNA

W

O



IN THE SPIRIT OF UNITY

San Diego, California ★ 1-4 September 2011

カナディアン アssenブリとカナディアン コンベンション カナダ ニューブラウンズウィック州セントジョン — 2011年10月

カナディアン アssenブリ (CANA) は、カナダ全域を視野に入れたゾーナルフォーラムである。年1回のN Aカナダコンベンションと合同で開催され、この「北の白い大陸」の至るところで行われているN Aを誕生させる取り組みや、アウトリーチ活動をはじめ、カナダのN Aに影響を及ぼす問題について話しあう。NAWSはこの10年間毎年、このアssenブリに招かれている。

CANA (カナディアン アssenブリ) への出席は、私たちに素晴らしい機会を提供してくれる。カナダ国内のリージョナルデリゲート (リージョンの代表) やその代行を努めるメンバーたちと一堂に会することができるだけでなく、信頼されるしもべとなっているメンバーたちやサービスに関心のあるメンバーたちからも情報や支援が得られるのだ。そして、このアssenブリではNAWSによるセッションが定番となり、かなりの時間が割り当てられているため、これまでに「検討すべき課題」やワークショップ進行の訓練、サービスプロジェクト、戦略的プランニング、広報活動をはじめとして、さまざまなテーマによるワークショップを主催してきた。

こうしてCANA (カナディアン アssenブリ) に出席しているうちに、私たちはカナダのN Aが飛躍的な成長と発展をとげるのを目の当たりにしてきた。北米大陸でもっともへんぴな地域にいるアディクトたちにN Aのメッセージを届け続けるために、CANA (カナディアン アssenブリ) は並外れた努力と決断力をみせてくれたのだ。NAWSとしても、このような取り組みをひきつづき支援していくことに変わりはない。

CANA (カナディアン アssenブリ) に関する情報は、www.canaacna.org でご覧いただきたい。



NAWS (N Aワールドサービス) のみなさんへ
10月のカナディアンアssenブリにワールドボードとNAWSのスタッフを派遣して下さったことに対して、ひとことお礼を申し上げたいと思います。派遣された方々による情報や意見の提供、ワークショップは、私たちの期待をはるかに上回るものでした。このように国や地域をこえてサービスを提供されている方々から学ぶ機会があったことは、私たちのだれにとっても、これまでとは違ふかたちのサービスにつながっていくきっかけとなるでしょう。よい経験になりました！
N Aの役に立てることを心から願いつつ、
CANA (カナディアン アssenブリ)

アラビア語によるN A文献翻訳委員会と、 N Aの誕生に関するワークショップ クウェート — 2011年11月

2010年、中東のN Aは喜びに包まれた。はじめてアラビア語による『ベーシックテキスト』が出版されたのだ。そしてこれに続けとばかりに、アラビア語による翻訳委員会ではエジプト、サウジアラビア、クウェート、バーレーンのメンバーたちを交え、他の翻訳プロジェクトについて優先順位を検討した。こうして2日間にわたるALTC (アラビア語によるN A文献翻訳委員会) が開かれる間に、NAWSはクウェートを訪れ、議事の進行を手助けした。会議では、アラビア語による回復に関する用語集 (翻訳作業できわめて重要な道具になるもの) に記載すべき言葉や表現が全員一致で決まり、翻訳原稿の一部見直しをすませたあと、ペルシャ湾リージョンにN A文献がうまく行き渡らせる方法をいくつか検討した。そして会議ではさらに、インターネットでLTC (文献翻訳委員会) を運営することにより、広範囲に散らばるN Aをまとめながらさまざまな異なる方言や文化に対応していくという挑戦に踏み出すために、いくつかのガイドラインが採用された。

それから、私たちはクウェートのN Aのために開かれた2日間にわたるN Aの誕生に関するワークショップに出席し、『しっかりしたホームグループをつくる』、『プランニングベーシックス』、広報活動などをテーマとするセッションの進行役を務めた。出席者の数は2日間の間に50人から80人まで変動し、そのなかには隣国のバーレーンやサウジアラビア王国からの出席者もみられた。

また、ワークショップの前と開催中には、クウェートのASC (エリアサービス委員会) による一連の広報活動に参加した。詳細は以下の通りである。



ソーシャルメディア サービス パンフレット

- ・ 更正訓練期間を試験的に設けている地元の解毒施設を訪れた。
- ・ 政府の薬物乱用防止委員会と会合をもち、話しあった。
- ・ クウェートの報道機関による記者会見が開かれ、4つの国営テレビ局とさまざまな出版メディアで取り上げられた。そして、その反響が8つの新聞記事となって現れた。
- ・ クウェートのテレビモーニングショーに出演し、20分間にわたるインタビューを受けた。この際には、地元のNAメンバー2名が電話によって参加し、地元の電話相談サービスとインターネットによる案内が画面に流された。
- ・ 政府の役人と一般市民にむけて、質疑応答を兼ねた説明会を開いた。この場には、クウェートのシャイハ（イスラム教国の支配者である首長の女系家族。西洋の王族では王女にあたる）や、クウェートとオマーンのNGO（非政府組織）の代表、NAメンバーの家族などが出席した。

あわただしい行程であったが、わずか5日間でもぐましい進展がみられた。この広報イベントについては、12月にアラブ首長国連邦でNAの誕生に関するワークショップが開かれるのにあわせて、クウェート、バーレーン、サウジアラビアの信頼される僕たちが何人かで経過報告をしてきた。このような取り組みはNAが誕生して成長を遂げるためには不可欠なものだし、こうして直接訪れることで地元のメンバーたちと交流でき、この中東という広大な地域でアラビア語を話すNAがなくてはならない存在となって成長を遂げていくことに一役買ったのであれば、なんともうれしいかぎりだ。

クウェートのNAに関する詳細は、<http://www.nainarabia.com/> でご覧いただきたい。

NAが生き続けるためには
メッセージを運ぶことが
欠かせない。
だからこそそのことが私たちの
第一の目的と
呼ばれているのだ。

『なぜ、どのように効果があるのか』、「伝統5」



NAメンバーなら一度、NAワールドサービスに献金してみよう。
もちろん、こちらでは一度と言わず、何度でも受けつけている。
www.na.org/?ID=donation-external-index

ソーシャル・ネットワーキング（インターネットによる交流）は現在、NA全体でも最もよく話し合われるテーマのひとつになっている。2010年のWSC（ワールドサービスカンファレンス）では、このような交流の場（ソーシャル・ネットワーキング・サイト）を利用するときに、私たちがNAの原理を生かすうえで直面する課題について話しあわれた。それにより、インターネットによる交流の場でNAメンバー同士や、メンバーと一般の人たちとがやりとりするさいにNAの原理がないがしろにされるのを防ぐため、いくつかの考えを示すサービスパンフレットの草案がつけられた。ただし、これは、このようなサイトの利用をうながすためでも、思いとどまらせるためでもない。インターネットという環境の中で、自分やほかのNAメンバーたちのアノニミティを守る方法や理由となる考えをいくつか示すためだ。このようなパンフレットがつけられることで、メンバーたちがインターネットによる交流を心おきなく楽しめるようになればと願っている。

なお、パンフレットの草案はカンファレンスの意向に従い、カンファレンス出席者による90日間の見直しが行われ、2011年10月30日に見直し作業が終了した。すでに入手可能になっている最終草案には、メンバーたちやサービス機関によって提供された意見に基づく修正案が盛り込まれている。『ソーシャルメディア アンド ガイディング プリンシプルズ（ソーシャル・メディアとNAメンバーが従うべき原則）』の購入またはダウンロードについては、以下のサイトをご覧いただきたい。www.na.org/?ID=OrderLiteratureOnlinecontent or www.na.org/?ID=servicemat-svc-pamphlets.

インターネットによる 変化や変更

インターネット版の版のNA文献

NAのメッセージを選びやすくしようと取り組むなかで、私たちは数年前にひとつの試みとして、書籍類をはじめとするインターネット版のNA文献を www.na.org に掲載した。これはすでに出版されている文献をそのまま、機種やOSに関係なくどのパソコンでも読める文書閲覧ファイル(pdf)にしたものであり、あくまで個人利用を目的として掲載されていた。それなのに、一部の人がメールによって大勢にまとめて配信するようになり、あげくの果てには一般の商用サイトを通じて売り込むことまでするようになった。

こうなった以上は、私たちが無責任なことではできない。ホームページへの全文掲載を取りやめ、一部抜粋したものを掲載していくしかないだろう。たとえば、書籍の場合には、目次や第1章をホームページで閲覧可能にすることはあっても、一冊丸ごと掲載することはない。ただし、41の言語に翻訳されたインターネット版のインフォメーションパンフレット(IP)類とブックレット類はすべて、ホームページに残すつもりではいる。これは、サービスパンフレット類やハンドブック類についても同じである。そこで、NA Way マガジンの読者たちには、この情報をそれぞれのNAで共有していただくようお願いする。それによって今後の変更も広く伝わりやすくなるだろう。

NA文献の電子書籍化

以上のことはさておいても、インターネット版のNA文献にはかなりの需要があることはわかっている。電子書籍(インターネット版の書籍)を制作してみなさんの要望に応じていく。現在の技術を用いれば、動画に音楽を合わせることも、そこにNA文献の文章を組みこんだりすることもできる。実際に、インターネット版のNA Way マガジンを定期購読している読者には、こうしたお楽しみがたっぷりある。記事に書かれている文献や、関連のある音楽や動画のファイル、内容の理解を深める情報や資料などに、そのままリンクできるようになっているのだ。ただし、現在の方針では、紙版のNA文献とまったく同じ内容のもの以外はつくることができない。カンファレンス アジェンダ レポートによる動議では、NA文献を電子書籍化するにあたって内容を充実させることを求めており、これが承認されれば、NA文献同士の一部抜粋や、音楽、動画などが盛り込まれるようになることも考えられる。

いくつか例をあげてみよう。『なぜ、どのように効果があるのか』と『ナルコティクス アノニマス ステップワーキングガイド』を電子書籍にすれば、文中にいくつもリンクを張り、クリックするだけでそれぞれの書籍で互に関連のあるページに移動できるようになる。同じく、『今日だけ』の電子書籍版なら、ページの最上段にある引用文をクリックすると、その文が書かれている段落の全文が表示されるということも可能だ。そしてまた、『ベーシックテキスト』を電子書籍にする場合には、ジミー・Kが本文の一部や内容に関係のある文章を朗読するのをサウンド・クリップ(音声ファイル)にして収めることも可能だろう。ただし、こうした例でもわかるように電子書籍の内容によっては、フェローシップとカンファレンスと両方による承認が得られるものも、一方による承認にとどまるものも、あるいはどちらの承認も得られないものもあるだろう。動議で提出する資料は、すでにフェローシップによる承認が得られたものと、すでにインターネット版NA Wayで充実を図った内容の一部であるものと、はっきり分けておくつもりだ。

ここで示したような内容の充実によって電子書籍の価値が高まるにちがいないと考えているが、NA全体の賛同が得られるかどうかを必ず確かめたいと思っている。そのためにも、4月に開かれるワールドサービスカンファレンスの出席者たちと一緒に、インターネットによるさまざまな可能性についてじっくり検討するのを楽しみにしている。

フェローシップ知的財産 所有権に関する動議

左記のほかにも、2012年CAR(カンファレンスアジェンダレポート)にはNA文献に関して方針の変更を求める動議が2つ盛り込まれている。

- ・ フェローシップ承認の文献に対して、内容とは直接関係のない部分の修正を認めることにより、タイプミスや印刷ミス、時代遅れの参考資料、変わりばえのしない訂正箇所などの問題を解決できるようにする。

例：IP(インフォメーションパンフレット)『ミーティング・バイメール・インザ・ローナー(孤立した環境の仲間と郵便でミーティングをする)』への言及を削除したり、文字欠落などの誤字を修正したりできるようにする。

(動議 2)

- ・ フェローシップ承認によるNA文献をテーマごとにまとめて編集することや、抜粋集をつくること、見栄えよく装丁し直すことなどができるようにする。ただし、関連資料を一冊にまとめる際に文章自体に変更を加えることはしない。

例：『ベーシックテキスト』、『なぜ、どのように効果があるのか』、『NAのステップワーキングガイド』、『ワーキングステップ4 イン NA』からそれぞれ「ステップ4」について書かれた文章を抜粋し、一冊の本にまとめる。

(動議 3)

仲間たちの絵はがき

WCNA 34 (第34回NAワールドコンベンション) では仲間たちがそれぞれに絵はがきをつくり、コンベンションや自分たちの国での回復にまつわる経験をわかちあった。今月号からは、このコンベンションでの絵はがきを、世界中の仲間たちから届いた絵はがきと一緒に掲載していく。

中部アメリカリージョンの歴史はとても長く、NAの成長の一翼を担ってきた。カンザス州では、1972年にはじめてNAグループができたと思ふまでもなく、中央平原一帯に新しいグループが続々と誕生して歩みを共にするようになっていったのだ。そして1977年にニューズレターの第1号が発行され、1979年には委員会が結成されることになった。カンザス州最大の都市ウィチタでは、1979年10月に第1回WSC (ワールドサービスカンファレンス) 文献会議が開かれ、1980年にはWCNA 10 (第10回ワールドコンベンション) も開催された。その間、複数の州に誕生したグループを支援したが、それぞれ成長するに従い自分たちのリージョンを結成して独立していった。現在の中部アメリカリージョンは、カンザスのグループを中心に、リストに登録されているオクラホマとコロラドのグループとで構成されている。

宛先：
世界中のNAの仲間たちへ

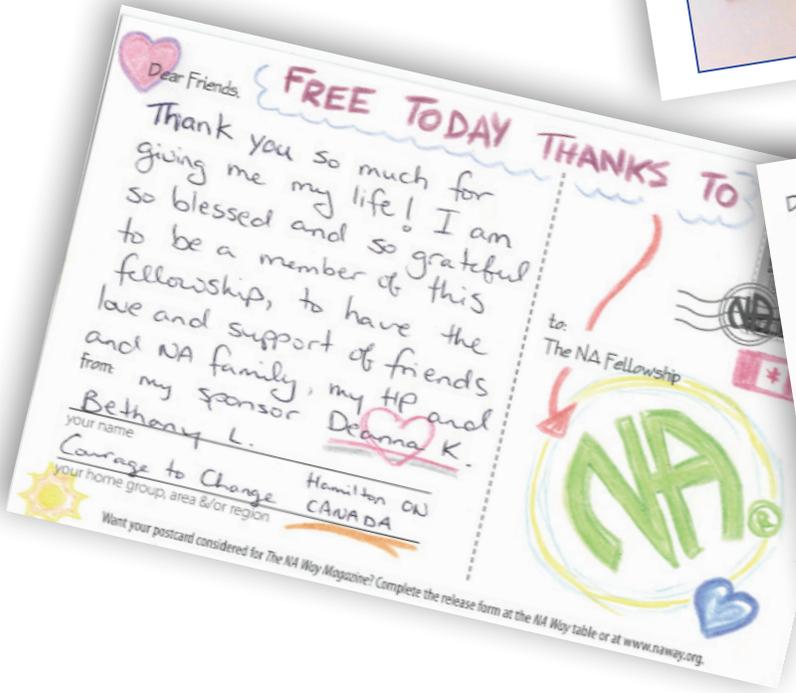


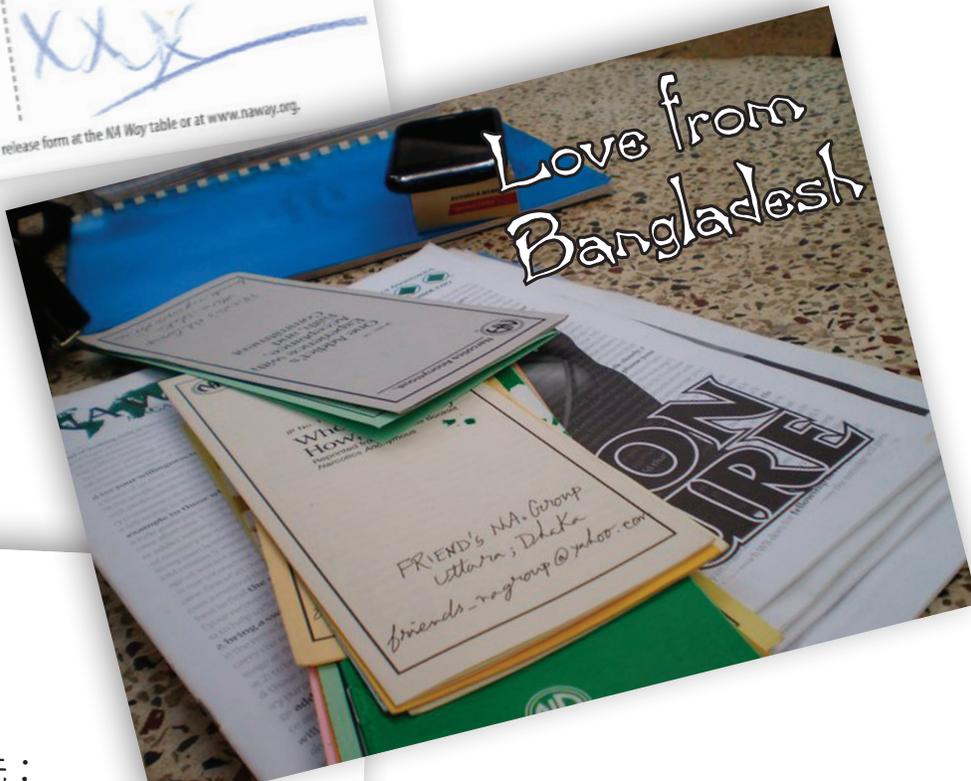
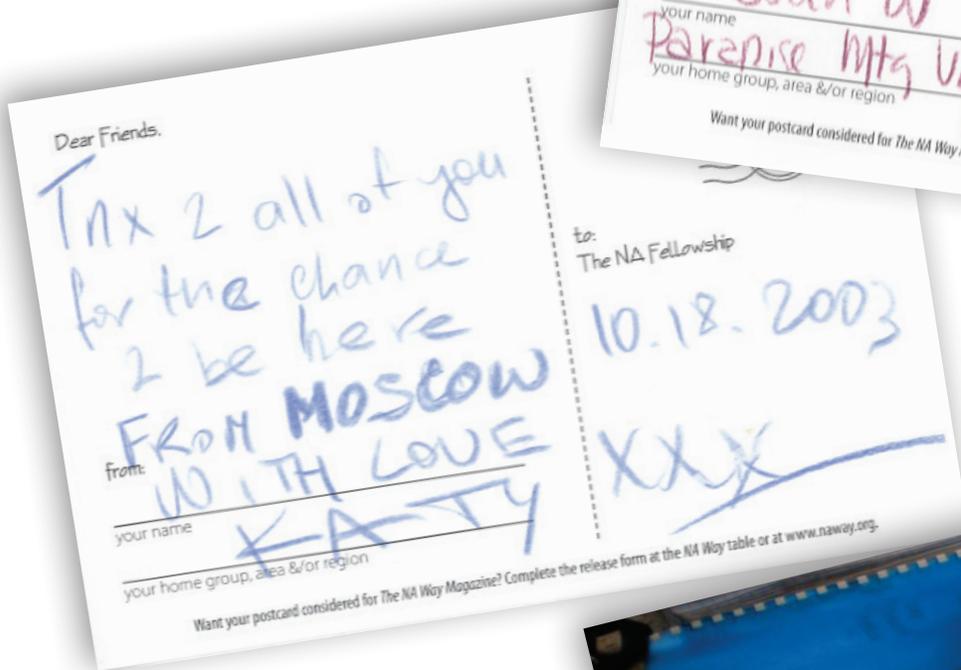
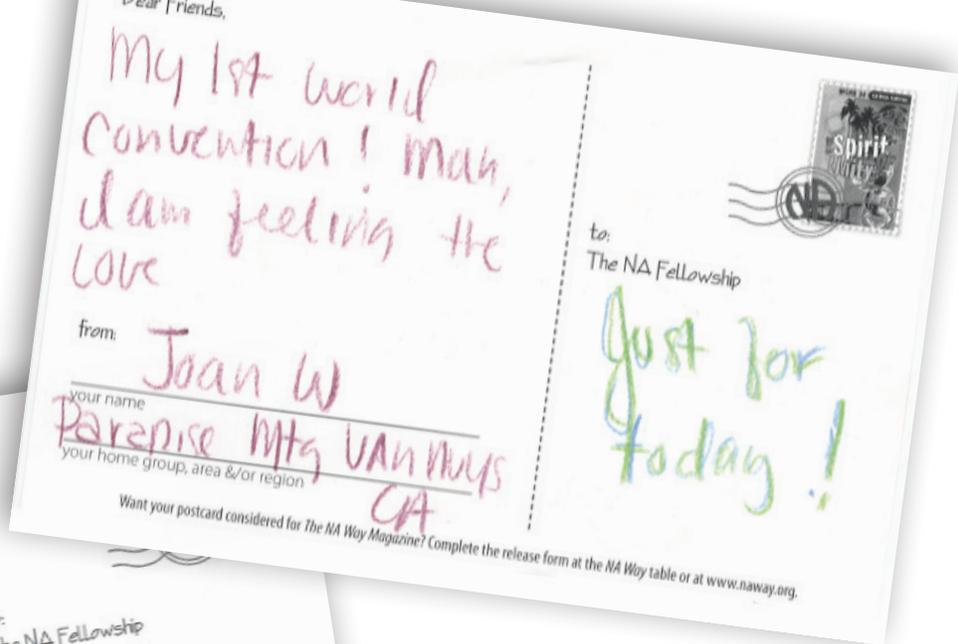
差出人：
中部アメリカリージョン



Greetings

From...
Mid-America Region





バングラデッシュのNAには現在、約200人の仲間がいる。首都ダッカには12のグループがあって、ほとんどのミーティングがダッカで開かれているけど、市外にも新しいグループがいくつか生まれつつあるんだ。そして、IP（インフォメーションパンフレット）の#1, #7, #16とキータグは、ベンガル語版がある。エリアサービス委員会がひとつあるし、みんなでH&I（病院施設）と広報のサービスを行ってる。そして、イベントではキャンパウトを何度かやって、すごく楽しかったよ。

バングラデッシュのNAをよろしくね！

宛先：
世界中のNAの仲間たち

差出人：
バングラデッシュ

情報とアート作品を送ってくれた仲間たち
 タイム・S（アメリカ合衆国／カンザス）
 タンヴィル・S（バングラデッシュ／ダッカ）
 そして、WCNA 34の出席者たち
 みなさん、どうもありがとう！

Picture this

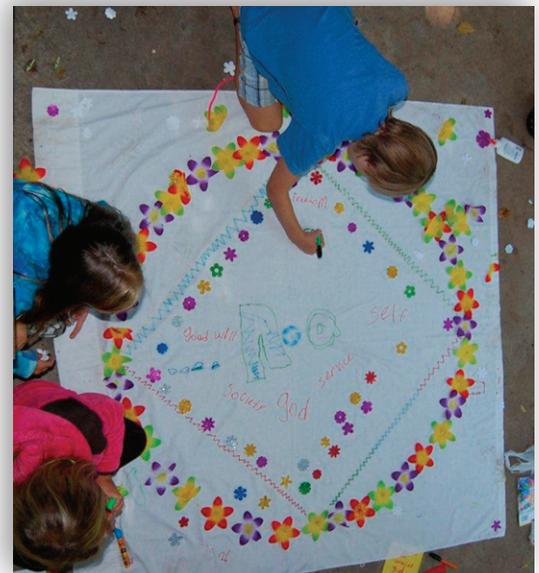
NA communities are invited to send photographs of their meeting places and events. Sorry, we cannot use photos that identify NA members. Please tell us the group/event name, location, how long it has been in existence, format or special traditions, and what makes it a unique part of your NA community.



BRANA 30: The Journey Continues was a campout hosted by the Blue Ridge Area of NA at the Natural Chimneys Campground in the Shenandoah Valley of Virginia. As we did in 2005, we are sharing a picture of our Serenity Prayer circle following the Sunday morning speaker meeting on 17 July 2011.

Five years ago, BRANA 25 attracted 288 recovering addicts, representing 1,426 years of cleantime. BRANA 30 hosted 425 people with a total of 2,104 years of cleantime. This year, we started counting the children who attended, and there were 110 (that's in addition to the 425), so we thought you might enjoy a photo of one of their activities at the campout, too.

Dan W, Virginia, USA





カレンダー

Multi-day events and those occurring between publication dates are printed according to the schedule posted online. To enter events or to access event details, visit the online calendar at www.na.org/events. (If you don't have Internet access, fax or mail your event info to 818.700.0700, attn: NA Way; or The NA Way; Box 9999; Van Nuys, CA 91409 USA.)

Belgium

Merksemdok 7-8 Apr; First Farsi Belgium Convention; Merksemdok, Antwerpen; www.na-belgium.org

Canada

British Columbia 13-15 Apr; Victoria Convention 7; Juan de Fuca Rec Center, Victoria; www.victorianaconvention.ca

Quebec 16-18 Mar; Youth Convention 16; Sheraton Montreal Airport Hotel; www.naquebec.org/cjna-ycna

Denmark

Skanderborg 3-5 Aug; Area Midtjylland Convention and Camp 5; Audonicon, Skanderborg; www.nakonvent.dk

Germany

Berlin 4-6 May; Berlin International Convention 4; Berliner Stadtmission, contact@binac.de; 00.49.177.4055749; www.binac.de

India

Karnatka 28-30 Jan; Bangalore Area Circle of Sisters Convention; Fireflies Ashram, Bangalore; 01.1.91.8105349153

Mexico

Veracruz 15-18 Mar; Mexico Regional Convention 15; Hotel Villas Del Mar, Puerto de Veracruz; www.namexico.org.mx

Norway

Hedmark County 28 Mar-1 Apr; Trysil Group Ski and Recovery 6; Trysil; www.nanorge.org/tingskjer.asp

Philippines

South Cotabato 20-22 Jan; Pilipinas Regional Convention 17; Mother Francisca Spirituality Center, General Santos City; kirby_suico@yahoo.com

Thailand

Chonburi 17-19 Feb; Thailand Regional Convention 5; Town in Town Hotel, Pattaya; www.na-thailand.org

United States

Alabama 20-22 Jan; Central Alabama Area Convention 15; Motel 6 (Old Governors House Hotel), Montgomery; 334.430.7947

2) 23-25 Mar; Greater Mobile Area Convention; Ashbury Hotel & Suites, Mobile; zackszc@hotmail.com

Arizona 17-19 Feb; Mexico Arizona California Convention 3; Pivot Point Conference Center, Yuma; www.maccna.org

Arkansas 10-12 Feb; Texarkana Area Convention; Austin Hotel & Spa, Hot Springs; www.texarkanaareaofnarcoticsanonymous.org

California 20-22 Jan; San Fernando Valley Area Convention 17; Marriott Burbank Airport Hotel, Burbank; www.nasfv.com/convention

2) 5-8 Apr Northern California Convention 34; McEnery Convention Center, San Jose; www.norcalna.org

3) 6-8 Apr; San Diego Imperial Counties Regional Convention 27; Sheraton San Diego Hotel and Marina; www.sandiegona.org/subcom/cc/index.html

Delaware 9-11 Mar; Small Wonder Area Convention 10; DoubleTree Hotel Downtown, Wilmington; 302.507.7816

Florida 30 Mar-1 Apr; Space Coast Area Convention 4; Crowne Plaza Oceanfront Resort, Indialantic; www.spacecoastna.org

2) 26-29 Apr; Alabama NW Florida Region Fun in the Sun 35; Paradise Palms Inn/Days Inn Beach, Panama City Beach; www.funinthesunconvention.org

Kansas 13-15 Apr; Mid-America Regional Convention 29; Topeka Holidome, Topeka; www.marscna.net

Kentucky 20-22 Jan; Louisville Area Convention 22; Galt House Hotel, Louisville; www.nalouisville.org/events/flyers/1261

Maryland 13-15 Apr; Chesapeake/Potomac Regional Convention 26; Roland E Powell Convention Center, Ocean City; www.cprcna.org

Massachusetts 2-4 Mar; Northeast Massachusetts Area Convention 3; Crowne Plaza Hotel, Danvers; www.nerna.org/node/817

Michigan 5-8 Apr; Detroit Areas Convention 20; Hyatt Regency, Dearborn; speaker tape deadline: 11 Feb; write: Detroit Areas; Box 32603; Detroit, MI 48232; www.michigan-na.org/dacna

Minnesota 13-15 Apr; Minnesota Regional Convention 19; Kahler Grand Hotel, Rochester; www.naminnesota.org

Nebraska 20-22 Apr; Elkhorn Valley Area Wings of Surrender Women's Retreat 4; Camp Moses Merrill, Linwood; 402.841.8966

Nevada 24-26 Feb; North by Northwest Area Las Vegas Dopes on Slopes; Cedar Breaks Lodge, Brian Head, Utah; dopesonslopes@nxnwana.org

New Jersey 2-4 Mar; Cape/Atlantic Area Convention 22; Clarion Hotel and Convention Center, Egg Harbor Township; www.pearlofrecovery.com

New York 17-19 Feb; Metro Area de Habla Hispana Convention 7; Crowne Plaza Hotel, White Plains; www.mahh.org

North Carolina 17-19 Feb; Coastal Carolina Area Freedom by the Sea Convention 11; Courtyard Marriott, Carolina Beach; www.coastalcarolinaarea.org

Ohio 10-12 Feb; Multi-Regional CAR/CAT Workshop/Midwest Zonal Forum Meeting; Holiday Inn Express, Perrysburg; www.naohio.org

2) 24-26 Feb; Toledo Area Convention 15; Ramada Hotel & Conference Center, Toledo; www.naohio.org

3) 2-4 Mar; Cleveland LEGS Area Convention 9; Holiday Inn Cleveland South/Independence; www.naohio.org

Oregon 24-26 Feb; Circle of Sisters Convention 15; Marriott Downtown, Portland; www.circleofsisters.org

Rhode Island 24-26 Feb; Greater Providence Area Convention 6; Crowne Plaza, Warwick; www.gpana.org

South Carolina 17-19 Feb; Greater Columbia Area Recovery at Work 11; Hilton Ocean Front Resort, Hilton Head Island; www.crcna.org/events

2) 2-4 Mar; GAP Area Convention; University Inn (formerly Ramada Inn), Clemson; www.thegaparea.com

Texas 3-5 Feb; Tejas Bluebonnet Regional Convention 12; MCM Eleganté Hotel, Beaumont; www.tbrcna.org

Utah 24-26 Feb; North by Northwest Area Las Vegas Dopes on Slopes; Cedar Breaks Lodge, Brian Head; dopesonslopes@nxnwana.org

2) 16-18 Mar; Northern Utah Area Convention 19; Comfort Suites, Ogden; www.northernutahna.org

NAWS PRODUCT UPDATE

Tri-Plate Medallions

To celebrate recovery milestones, four new striking color combinations are available in 18 months, 1 through 50 years, and eternity:



- Translucent Green/Pearl/Black Item No. 6100 series
- Orange/Black/Pearl Item No. 6900 series
- Violet/Pearl/Black Item No. 6800 series
- Gold/Pearl/Black Item No. 6700 series



Price US \$21.30

Just for Today Daily Meditation Cards

These 366 daily meditation cards offer the opportunity to focus on a new recovery principle every day with quotations from *Just for Today*. Includes decorative box.

Item No. 9505 Price US \$15.00



Social Media and Our Guiding Principles

This new service pamphlet addresses using social media responsibly considering our tradition of anonymity.

Item No. 2207 Price US \$0.28



2012 Conference Agenda Report

Available in six languages (English, Castilian, French, German, Portuguese, and Swedish); price includes shipping and all applicable taxes.

Item No. 9140 Price US \$13.00



Bulgarian

Basic Text (5th Edition)

**Анонимни
Наркозависими**

Item No. BG-1101 Price US \$7.50

Filipino

An Introductory Guide to NA
**Isang Pangunahing Gabay
sa Narkotiko Anonimo**

Item No. FL-1200 Price US \$1.80



German

H&I Basics

Kurzer Leitfaden für K&E

Item No. GE-2101G Price US \$0.55

Latvian

IP No. 20

Kalpošana Slimnīcās un Iestādēs un NA dalībnieks

Item No. LV-3120 Price US \$0.22

Hungarian

IP No. 9

Élni a programot

Item No. HU-3109 Price US \$0.22



Maltese

White Booklet

Narkotiċi Anonimi

Item No. MT-1500 Price US \$0.67



Italian

Twelve Concepts for NA Service

I Dodici Concetti per il servizio in NA

Item No. IT-1164 Price US \$1.85

Norwegian

IP No. 26

Tilgjengelighet for de med spesielle behov

Item No. NR-3126 Price US \$0.22

Information about NA

Informasjon om Anonyme Narkomane

Item No. ZPRNR1002 Price US \$0.26

IP No. 28

Finanziare i servizi di NA

Item No. IT-3128 Price US \$0.32



Introduction to NA Meetings

Introduzione alle riunioni di NA

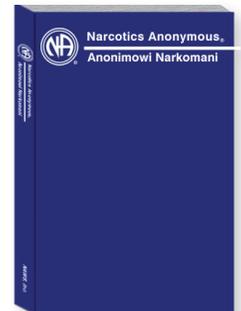
Item No. IT-2201 Price US \$0.22

Polish

Basic Text (5th Edition)

Anonimowi Narkomani

Item No. PL-1101 Price US \$7.50



Group Business Meeting

Riunioni di servizio di gruppo

Item No. IT-2202 Price US \$0.22

Group Trusted Servants:
Roles & Responsibilities

I servitori di fiducia del gruppo: funzioni e responsabilità

Item No. IT-2203 Price US \$0.22

NA Groups & Medication

I gruppi di NA e i farmaci

Item No. IT-2205 Price US \$0.28

Principles & Leadership in NA Service

Principi e leadership nel servizio in NA

Item No. IT-2206 Price US \$0.28



Swedish

Sixth Edition Basic Text

Anonyma Narkomaner

Item No. SW-1101 Price US \$11.00



Deeply discounted
WCNA 34 Merchandise
spirit&unity

is available online!

<http://www.hicorpinc.com/na>

Choose from a variety of clothing and caps, mugs, travel mugs,
 and specialty items like microfiber screen/eyeglass cleaning cloths.

You can also purchase merchandise from previous NA world conventions at blow-out prices.

Treat yourself or buy a gift for a friend or sponsee/sponsor.

All sales are final and quantities and sizes are limited to stock on-hand.

TM

Statement of Ownership, Management, and Circulation

The NA Way Magazine (ISSN 1046-5421) is published quarterly. There is no subscription charge for this publication. The office of publication is at 19737 Nordhoff Place, Chatsworth, CA 91311. Mailing address is PO Box 9999, Van Nuys, CA 91409. The editor is De Jenkins. The NA Way Magazine is owned by NAWs, Inc., a nonprofit corporation, and there are no other bondholders, mortgagees, or security holders. The status of this corporation has not changed during the twelve months preceding this filing.

Extent and nature of circulation	Average no. of copies in preceding 12 months	Actual no. of copies as of 1 Oct 2011
Total printed copies	6,375	7,500
Requested subscription—outside county	5,851	7,104
Requested subscription—in-county	0	0
Total requested subscription	5,851	7,104
Total free or nominal rate distribution	250	160
Total distribution	6,101	7,264
Copies not distributed (office uses)	274	236
Total	6,375	7,500
Percent requested circulation	95.9%	97.8%

Certified, correct, complete

